



浦崎みゆき 議員

食べ物のムダをなくす努力を

答 事業者や家庭へ講演会の開催に向け検討する

問 まだ使っていない食品などを寄付するフードドライブに本町はどう取り組んでいるか。

副町長 町社協が窓口となり受付している。お米や缶詰等の提供がある。町も広報誌等でフードドライブの支援をしていく。

問 食品ロスを減らすための講演会を開催できないか。

副町長 国民全体で毎日ご飯1杯以上の食品が捨てられていく状況がある。事業者と家庭、双方における食品ロスを減らすことが必要である。講演会等の開催を検討する。

利用しやすい町内循環型バスを

問 町民より環境の杜ふれあいや町内を回る車を確保してほしいとの要望がある。どう考えるか。

副町長 町内を回る車は、財政的負担が大きく厳しいと考

問 町民に役立つ交通体系を調査研究し、持続可能な交通網の構築をしていく考えはな

総務部長 国道329号南風原バイパスの利用やLRT、鉄軌道などの勉強会を行っている。他府県の事例では、何人かで高齢者をバス停まで送るシステム等がある。今後調査研究を行いたい。

男女共同参画推進条例の制定を急げ

問 第二次南風原町男女共同参画計画（まじゅんプラン）策定以降、推進された具体例はあるか。

副町長 具体例としては、審議会等での女性登用率が25・5%から30・8%と向上している。北丘小学校、北丘幼稚園で男女混合名簿を平成28年度より取り入れている。女性の管理職が1人から3人となつた。

問 男女共同参画社会を実現するためには、男女共同参画推進条例制定が必須事項と思われる。状況を問う。

副町長 目標達成に向け平成30年から33年までに条例制定を行う。

まじゅんプランの基本方針

男女共同参画への意識づくり

男女が共に健康で安心して暮らすための条件整備

家庭・地域・職場における男女共同参画の環境づくり

女性の能力を活かすための積極的方策の推進

平和への貢献、国際協調と文化の創造

○B型肝炎ワクチンの接種状況は
こんな質問もしました